## 28 我が街 船橋を歩く―神社仏閣(26) 山野浅間神社(1)―

29 期 仲田 元昭

JR 西船橋駅より千葉方面へ徒歩 15 分程千葉街道(旧佐倉道)沿いにある、中世より人々が住んでいた旧葛飾村山野地区の鎮守である山野浅間神社を2回にわたりご案内します。

## 「山野浅間神社」

山野浅間神社は、その昔山野の村 人が駿河国富士山本宮浅間神社を氏 神として勧請して創建としており、 社宝「懸仏(かげぼとけ)」の年代検 証等より、今から 750 年程前の鎌倉 時代後期~室町時代前期には存立し ていたと伝えられている、船橋でも 古くからある神社の一つです。

前の社殿は、嘉永3年(1850)に 造営され、戦後に増改築が行われ、 現在の新社殿となりましたが、当時 の部材の一部が再利用されていると いわれています。

御祭神は、富士山を崇拝する浅間信仰の木花咲耶姫命で、安産の神・子育ての神としても信仰を集めています。例大祭は、富士山の山開きに合わせ、6月30日、7月1日で出店が出て賑わいます。

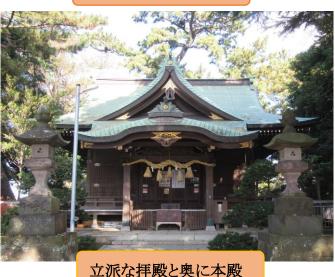
## 「船橋一の長さを誇る参道」

神社鳥居前の階段らかまっすぐ伸びる本殿までの参道の長さは220m あり船橋随一の長い参道を誇る神社です。ちなみに参道の長さ2番目は、船橋を代表する船橋大神宮の参道182mです。

昭和30年代までは、この高台(標高22m)の境内より東京湾を隔て、 荘厳な富士の勇姿を拝することが 出来きましたが、今は街の開発が進 み残念ですが見ることが出来ません。







「29 我が街 船橋を歩く 神社仏閣(27)山野浅間神社」に続く「2023-4-1 寄稿」